

【JBA法人会員、JBA個人会員(アカデミア)限定】

JBA創薬モダリティ 基盤研究会セミナー

「有機合成化学で切り拓く核酸・中分子医薬の未来」

主催：（一財）バイオインダストリー協会 創薬モダリティ基盤研究会

2026年2月4日(水) 14:00~15:10
オンライン（MS-Teams）開催

「核酸医薬の新展開：立体化学制御とDDS技術の融合（仮題）」

和田 猛 氏（東京理科大学 薬学部教授）



次世代の創薬モダリティとして、核酸医薬が注目を集めています。本セミナーでは、アンチセンス核酸やsiRNAなど、疾病関連遺伝子の発現を効果的に抑制する核酸医薬の創製について、有機化学的アプローチからご紹介します。

特に、リン原子の立体化学を厳密に制御したリン原子修飾核酸の立体選択的合成法と、その医薬品としての優れた特性について解説します。さらに、分子認識能を有する人工オリゴ糖など、核酸医薬の体内動態を改善するDDS技術との融合についても触れ、基礎研究から臨床応用に至る核酸医薬開発の最前線をご紹介します。

「中分子医薬品の受託開発製造事業と新規DDS技術」

小寺 淳 氏（株式会社日本触媒 健康・医療研究開発部・部長）



中分子医薬品（核酸医薬やペプチド医薬）の実用化には、高品質な原薬製造技術が不可欠です。日本触媒では、化学会社として培った高度な合成技術と分析技術を駆使し中分子原薬のCDMO事業を展開しています。GMP準拠の製造設備を保有し、探索研究段階から臨床開発、商用生産まで一貫した受託サービスを提供しています。本講演では、当社の中分子原薬CDMO事業の特長、製造能力増強およびDDS技術などの医薬品開発支援の取り組みに関して、最新状況をご紹介します。

お問い合わせ

JBA創薬モダリティ基盤研究会事務局 北嶋・中戸川・瀬下